

元観第 40 号  
令和元年 11 月 25 日

小谷村観光地域づくり審議会会長 様

小谷村長 中村 義明

### 小谷村の観光振興の方向性について（諮問）

小谷村は「中部山岳」と「妙高戸隠連山」の 2 つの国立公園に抱かれ、柵池高原・白馬乗鞍温泉・白馬コルチナの 3 スキー場をはじめ、柵池自然園や雨飾山、鎌池などの山岳景勝地、さらには小谷温泉・姫川温泉など 10 か所の温泉や歴史・文化を伝える塩の道など、観光資源に恵まれています。

村ではスキー場開発を中心に観光業が発展し、観光業が村の経済や雇用を支える基幹産業となりましたが、スキー人口の減少や旅行形態の変化などにより、観光客の入込は長期にわたり減少傾向が続いています。

現在、社会経済環境は人口減少・少子高齢化の進行や ICT 技術の普及等により急速に変化しています。また、観光客のニーズの多様化、外国人旅行者の増加、さらには大町市・白馬村・小谷村の広域 DMO 設立など観光をめぐる情勢も大きく変わりつつあります。

村としては、このような変化を踏まえて観光振興による地域活性化を実現していく必要があることから、将来に向けて村が進めるべき観光振興の基本的な方向性について、貴審議会の意見を求めます。